

看護学研究科 アドミッション・ポリシー

1. 求める学生像

博士前期課程	博士後期課程
<p>看護学の高い専門知識・技術を学修する意欲と倫理観を持ち、看護実践の質向上に寄与する意志を有する人。</p> <p>看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、柔軟で論理的な思考をもって研究を遂行することができる人。</p>	<p>博士前期課程あるいは修士課程において修得した専門知識と研究能力を自ら発展させる意志を有する人。</p> <p>専門および関連分野における国内外の研究成果を読み取る力を有する人。</p>

3. 入学者選抜の基本方針：「求める学生像」に基づき、各選抜試験を行います

		博士前期課程	博士後期課程
選抜試験種別	一般学生	評価する能力	英語では、論文読解力と表現力を有している人を選抜する。志望別看護学では、志望する看護分野における基礎知識と総合的な学力を有している人を選抜する。面接では、看護学の高い専門知識・技術を学修する意欲と倫理観を持ち、看護実践の質向上に寄与する意志を有し、柔軟で論理的な思考をもって研究を遂行することができる人を選抜する。
		評価方法・比重	英語、志望別看護学、面接 ※英語、志望別看護学、面接の比重は1：1：0.45とする。
	社会人特別	評価する能力	口述試験では、博士前期課程あるいは修士課程において修得した専門知識と研究能力を自ら発展させる意志を有する人を選抜する。 英語、論文読解では、専門および関連分野における国内外の研究成果を読み取る力を有する人を選抜する。
		評価方法・比重	英語、口述試験、論文読解 ※英語、口述試験、論文読解の比重は1：1：0.5とする。
		小論文では、論文読解力と表現力を有している人を選抜する。志望別看護学では、志望する看護分野における基礎知識と総合的な学力を有している人を選抜する。面接では、看護学の高い専門知識・技術を学修する意欲と倫理観を持ち、看護実践の質向上に寄与する意志を有し、柔軟で論理的な思考をもって研究を遂行することができる人を選抜する。	
		小論文、志望別看護学、面接 ※小論文、志望別看護学、面接の比重は1：1：0.45とする。	